

# 『館長の小窓』



No.23 (H27.2.7)

2月6日(金)当館にて、新☆豊田市誕生10周年プロジェクト「10年のキセキ展」事業「いなかとまちのくるま座ミーティング」が開催されました。

第1部は、「都市と農山村が支え合う社会」と題して、民俗研究家の「結城 登美雄氏」から基調講演があり、「日々の暮らしにおける支え合いや絆の大切さ、地域は家族の集まり、家族とは何か」など、農山村の良さを再発見し農山村で暮らすことの幸せを感じられた話でした。

第2部は、3つのテーマ(移住・定住、次世代育成、スモールビジネス)に分かれて、くるま座ミーティングが行われ、「移住定住者と地域住民との協働、子供たちとともに地域をつくることの大切さ」など様々な事例発表や意見交換がされ、最後に太田市長から「無いもの(交通・買い物の不便さなど)を憂うことより、あるもの(人・自然・伝統文化など)探しの方が大切」との話があり、全体を通してとても充実した催しでした。

当地域においても、高齢化・過疎化が進行し将来がたいへん憂慮されるところですが、今を生きる私達自身が地域に魅力や誇りを持ち、それを子ども達に伝えていくことが、明るい未来づくりにつながる最善の策であると感じました。

## 【いなかとまちのくるま座ミーティングの様子】



基調講演



各テーマ報告、総括



戸田友介氏(旭地区1ターナー)の息子も大活躍

結城登美雄氏と太田市長

